

第5次飛島村総合計画策定にかかる
「とびしま・未来づくりワークショップ」
実施報告書

令和4年3月

飛島村

目 次

I	ワークショップの概要	1
1	目的	1
2	全体像	1
3	ワークショップとは	2
II	第1回のとりまとめ	3
1	オリエンテーション	3
2	フリートークで「語り合う」	3
3	「まとめ」シートの作成	4
4	「まとめ」シートの内容	4
III	第2回のとりまとめ	6
1	オリエンテーション	6
2	フリートークで「語り合う」	6
3	「とびしま・みんなで未来のむらづくり」シートの作成	7
4	「とびしま・みんなで未来のむらづくり」シートの内容	7

I ワークショップの概要

1 目的

新たなむらづくりの指針となる「第5次飛島村総合計画」の策定にあたって、住民の声を共有し合うとともに、10年後のあるべき姿やむらづくりについて検討する場として「とびしま・未来づくりワークショップ」を実施しました。

また、計画策定にあたっては、策定プロセスを「みんなで作るとびしま」としてロゴマークを作成。のぼりも2種類作成し、策定に向けた機運を高めています。



2 全体像

ワークショップの名称は、参加者それぞれが未来のむらづくりについて気軽に話し合うことができるよう「とびしま・未来づくりワークショップ」と設定しました。全2回実施し、各回において明確な検討課題を設定しました。

とびしま・未来づくり ワークショップ

「“飛島村の未来”に向けたむらづくりとともに 「むらの将来像」を語り合う」

第1回 むらの強み・弱みを語り合いましょう

～みんなが“イキイキ”できる飛島村に向けて～

飛島村の「強み」と「弱み」について住民目線で自由に語り合い、自慢できるものや、改善してほしいことなどを議論し、印象に残ったことをシートに記入する。

第2回 むらの将来像を語り合いましょう

～みんなが“ワクワク*”できる飛島村に向けて～

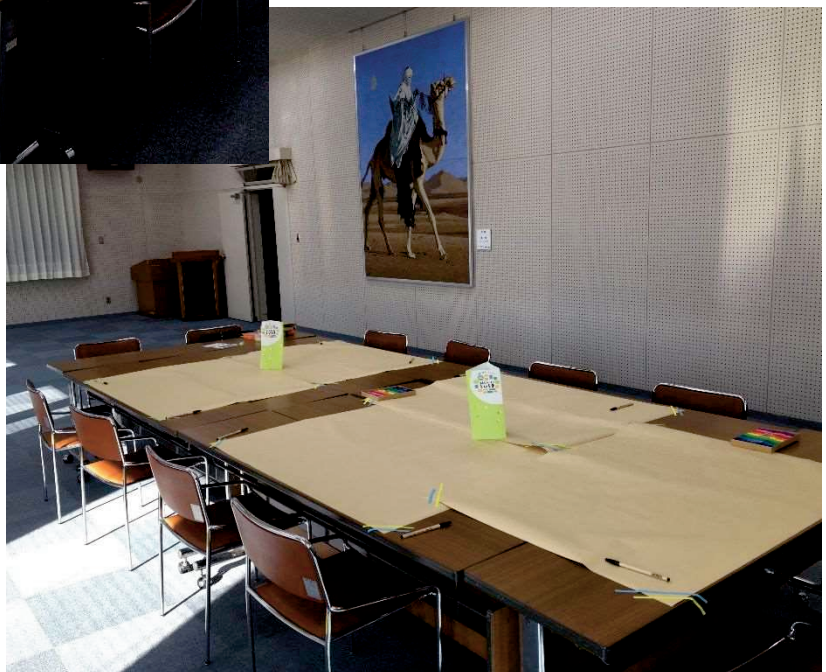
「むらの将来像」と「その実現に向けて必要な取組」について、語り合いつつ、ワークショップを通じて参加者が“推し”たい、飛島村の「将来像」と「取組」についてシートに記入する。

※第1回では“イキイキ”としていましたが、参加者から“ワクワク”の方がいいのではないかとのご意見を頂戴し、それを反映したものです

	開催日時	場 所	参加者数
第1回	令和3年 11月27日(土) 10:00~11:30	中央公民館3階 視聴覚室	11名
第2回	令和3年 12月4日(土) 10:00~11:30		6名

3 ワークショップとは

ワークショップとは、先生や講師から一方的に話を聞くのではなく、参加者が主体的に議論に参加したり、言葉だけでなくからだや場所を使って体験したり、相互に刺激し合い学び合う、グループによる学びと創造の方法です。



Ⅱ 第1回のとりのまとめ

1 オリエンテーション

第1回目では、参加者のみなさんにワークショップの目的や趣旨の共有を図るとともに、総合計画についての説明を行いました。

【コラム】～総合計画とは？～

総合計画とは、飛島村が将来、どのような「むら」をつくっていくのか、そのために誰が、どんなことを、いつまでにしていくのかをまとめたものです。

例えば、目指すべき目的地へ向かって航海するには「針路」が必要です。

針路を定めずに、やみくもに船をこぎ出してしまうと、途中で目的地を見失い、迷ってしまうかもしれません。

また、船は一人きりでこぐことはできません。

目的地へたどり着くためには、乗組員全員（ここでは住民や行政、自治会、各種団体、企業などが想起されます）がしっかりと針路を共有し、それぞれ役割分担しながら、全員で協力して船をこいでいく必要があります。

つまり、飛島村を船だとすると、総合計画は「むらづくりを進めていくための羅針盤」であるともいえます。

2 フリートークで「語り合う」

参加者全員でテーブルを囲んで、以下の2点を念頭に置きながら、フリートークによる意見交換を行いました。

- ・ 飛島村に住んでいて自慢できること、誇りに思うことなどの良いところ ⇒ 飛島村の「強み」
- ・ 飛島村に住んでいて残念に思うこと、改善してほしいことや伸びしろなどの課題 ⇒ 飛島村の「弱み」

3 「まとめ」シートの作成

語り合いを進める中で特に印象に残った話や、飛島村の未来にとって重要だと思うことを「まとめ」シートに記入いただきました。

←印象に残った、飛島村の「強み」について記載していただきました。

←印象に残った、飛島村の「弱み」について記載していただきました。

4 「まとめ」シートの内容

「まとめ」シートに記載いただいた内容について、次に示します。

番号	飛島村の「強み」 特に印象に残った・重要だと思ったところ	飛島村の「弱み」 特に印象に残った・重要だと思ったところ
1	<ul style="list-style-type: none"> ・立地的に大都市に近い ・財政力がある ・田舎的風景があり、住みやすい ・小さな村ということもあり、村長への距離が近い 	<ul style="list-style-type: none"> ・海板 0m 以下で災害に弱い面がある ・輸送車両の増加があるが、歩道 etc の安全面に欠ける部分がある ・隣近所の近さから、プライベートな部分がなくなる
2	<ul style="list-style-type: none"> ・田んぼが多く静かな住環境で住みやすい ・大都市に近く、何をすることもそれなりに便利 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションが不足しているように思う ・何か行動を始めるにも、リーダー・メンバーが不足している感じ
3	<ul style="list-style-type: none"> ・財政豊かだと言われるが、それが人間を育まなくなる ・行政を含め <ul style="list-style-type: none"> ①考えなくなる ②アイデアが生まれない ・名古屋駅に近い立地 	<ul style="list-style-type: none"> ・低地、住環境に適さない ・人口増が期待できない

番号	飛島村の「強み」 特に印象に残った・重要だと思ったところ	飛島村の「弱み」 特に印象に残った・重要だと思ったところ
4	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな財政・企業誘致がしやすい ・人との関係が密接 ・のんびりとした環境 ・村長との距離が近い。個人の意見が反映されやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業が増える反面、自然がなくなっていく ・人間関係がわずらわしい ・競争力がない ・災害に弱いかも ・封建的な考えが残る部分もある
5	<ul style="list-style-type: none"> ・経済力が豊かである ・隣人の顔が見えていて、おだやかに生活ができています ・意見が言いやすい→村長との距離が近い 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い時には、強みであるはずの隣人の顔が見えていることが干渉されていることになってとても嫌な事だった ・子ども達はおだやかだが人数が少なく、競争力に欠ける→リーダーシップをとれる人が少ない
6	<p>“みんなで作るとびしま”にするためには、「わくわく」が必要!! 昔のような村民同士のコミュニケーション力をうわさ話などマイナス面にするのではなく、プラスに変えていきたい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農地の転用で今後、田園風景がどんどんなくなってしまわないか不安 ・老若男女、交流できる場がない ・災害に弱い防災力を、村民みんながつけなければならない
7	<ul style="list-style-type: none"> ・財政が強い ・村政や村長が身近 ・個人が活かされやすい ・取り組みがスピーディーに実行できる力を秘めている 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に弱い人が少ない分、リーダー不在・受け身 ・意見が一部に偏りがち ・昔のような、生物多様性が失われている
8	<p>財政力を生かし、古き良き飛島を少しでも再生し、生きやすい心地良い場所にする</p>	<p>防災に力を入れなければ、全てのことが吹き飛ぶ。防災が全ての基盤</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> ・立地条件が良い ・おだやかな人・村 ・財政豊かな村 ・農地がたくさんある 	<ul style="list-style-type: none"> ・隣との距離が近い(プライバシー) ・海拔が低く災害リスクあり ・リーダーシップとれる人材予足 ・競争力が不足・将来の不安あり ・ワクワクできていない
10	<ul style="list-style-type: none"> ・地域性が高い。村民がおだやか(近所づき合い、ふるさと、地名度) ・村の財政力が高い(村民の意見を反映し、何か取り組みそう、企業誘致) ・自然豊かな村(田園風景) 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に弱い ・お店がなくなっている、観光スポットがない。利便性の悪化 ・封建的、田舎マインド ・若い人からリーダーを出せていない
11	<ul style="list-style-type: none"> ・財政が豊かなので、ハード面が整備されている(避難所、高速道路道路インター) ・住民の意見が届きやすい ・顔身知り ・子どもが素直 	<ul style="list-style-type: none"> ・お金があるから受け身 ・リーダーシップとれる人が少ない→人財が少ない・おとなしい ・商店が無くなっている。災害に対して不安・海拔より低い


Ⅲ 第2回のとりのまとめ

1 オリエンテーション

第2回目では、前回の「まとめ」シートを振り返りながら、飛島村の人口などの統計的資料に触れました。その上で、「むらの将来像」について語り合うことが第2回目のゴールであることを共有しました。

2 フリートークで「語り合う」

参加者全員でテーブルを囲んで、「むらの将来像」と「その実現に向けて必要な取組」について、それぞれ語り合っただき、意見交換を行いました。なお、2部制のフリートークとし、前半を「むらの将来像」、後半を「将来像を実現するために必要な取組」について検討いただきました。

「とびしま・みんなで未来のむらづくり」シート 

わたしが“推し”たい、10年後の「むらの将来像」(キャッチコピー・キャッチフレーズなど)

←

上記「むらの将来像」を実現するために必要な取組 (イラスト、図解、箇条書き・・・なんでもかまいません)

←

3 「とびしま・みんなで未来のむらづくり」シートの作成

フリートークの終了後、「とびしま・みんなで未来のむらづくり」シートに、参加者が“推し”たい、飛島村の「将来像」と「取組」を記載いただきました。



4 「とびしま・みんなで未来のむらづくり」シートの内容

「とびしま・みんなで未来のむらづくり」シートに記載いただいた内容について、次に示します。また、第1回の参加者の方から事務局宛に意見が寄せられたので、7に記載しています。

番号	“推し”たい、10年後の「むらの将来像」 (キャッチコピー・キャッチフレーズなど)	「むらの将来像」を実現するために必要な 取組(イラスト、図解、箇条書き・
1	環境が整った美しい村	<ul style="list-style-type: none">・農地を農地として維持できる対策・同じ目標を共有できる地域のコミュニケーションの場造り・方向性を示すような行政であってほしい
2	“住みやすい村”(居住環境)の施策強化 →人口増	<p>人口増を目指すなら</p> <ul style="list-style-type: none">・農業集落配水から流域下水に転換が必要

番号	“推し”たい、10年後の「むらの将来像」 (キャッチコピー・キャッチフレーズなど)	「むらの将来像」を実現するために必要な 取組 (イラスト、図解、箇条書き・
3	ほっとできるガーデンビレッジ	<ul style="list-style-type: none"> ・財政に見合った美しい村づくり・居住環境づくり ・その美しい村を守る為のしっかりとした防災計画づくり ・避難所の効果を色々なシミュレーションで検証し、本当の信頼度を村民が知る必要がある。今は避難所があるからと安心している住民が多い
4	「変化」「楽しく」「活発」なトビシマ	<ul style="list-style-type: none"> ・人がトビシマに留まる ・長寿 ・仕事がトビシマに有る ・外部と交流有る ⇒「家族が楽しく生活」
5	村民一人一人が安心して幸せを感じる村	<ul style="list-style-type: none"> ・老後の心配がない ※高齢世帯でも孤立しない ・人口減を宅地造成による勧誘でなく、他市町村から住みたいと思ってもらえる魅力ある環境づくり
6	農業改革、サービス業等第3次産業の振興、住居の再整備、教育等未来人材の育成、水素社会へのトライ	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の作業集約等を主役に、農業の法人化を進める ・合わせて、農業の先進地に向け、第3セクターの研究・企画等のヘッドクォーターをつくる
7	<p>①温故知新のような村</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢湾台風を経験し、得た知見から防災に力を入れているところ ・手作業が多い農業から、自動化、AIを駆使したスマート農業へ発展させる ・湾岸の工業地帯で、何か温故知新のようなエピソードがあれば活用する <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>②やりがい、生きがいを感じられる村</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファーマーズマーケット、貸し農園、農家レストランなど、村外から人が集まるような村になったらいいなと思う (貸し農園で汗をかいて、温泉につかって帰りたいな) その上で、村外の人たちと交流することにより、村の人たちも張り合いが生まれ、やりがい、生きがいを感じられる ・飛島学園でさまざまな体験学習を行い、将来の夢やなりたい職業が育まれる村 ・村内の交流を大切にす (村民体育祭、夏祭り、農業祭などをやり続ける) 	

番号	“推し”たい、10年後の「むらの将来像」 (キャッチコピー・キャッチフレーズなど)	「むらの将来像」を実現するために必要な 取組 (イラスト、図解、箇条書き・
	<p>③最先端技術が集まる村</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ロケット、AI など最先端の研究をしている企業を誘致し、シリコンバレーのような村に また、直角に交わる道路、幅も広いのを活かし、自動運転バスなどの実証実験を積極的に行う村に。そしてその恩恵を村の人たちが感じられる村に ・ 広い田んぼを生かし、ドローン競技の大会を開催する村 	

第5次飛島村総合計画策定にかかる
「とびしま・未来づくりワークショップ」
実施報告書

発行：飛島村 総務部 企画課
TEL：0567-97-3462（直通）
FAX：0567-52-0089

発行年月：令和4年3月